

【志 花の期間のはじめに】

京都市立下京中学校

校長 安居 昌行

「考えること」

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。この冬休みは晴れの日も多く、穏やかな新年を迎えることができました。お正月には心静かに自分の「将来の夢や希望、そして志」について考えた人もいたのではないのでしょうか。また、勉学や家の手伝いなど忙しい日々を送った人、ゆったりと自分を見つめることができた人、ちょっと悔いを残してしまった人など違いはあるけれど、学校とは異なった“考える時間”をもつことができたのではないのでしょうか。

さて、あっという間の冬休みも終わり、新たなステージ「下京中では“花”と呼んでいる」学習の期間が始まります。姿の式でお話しがあつたように体育館の天井の明かりもLEDの照明になり明るくなりました。皆さんの気持ちも新たに、一年間の総まとめを行っていきましょう。一人一人が充実し、学級や学年などが過ごしやすい「集団」になるよう心がけていきましょう。特に3年生は自分の進路を切り拓く重要な時期でもあります。

ところで“考える”ということについて、読書やコミュニケーションの大切さなど様々な提案をしている齊藤孝さんは「何かものを考えるときに、一番必要なものは何でしょう。・・・私が思うに、それは“考えようとしていること”です。目の前にある問題に取り組み、意味を理解し、答えを出そうとする意欲そのものです。・・・自分の意見が言えるようになりたい、問題を解決したい・・・そういう気持ちがあれば〈考える〉ことは誰にでもできることなのです。(『考え方の教室』齊藤孝著)」とされています。

何かに一生懸命に取り組み、時に振り返って考えてみる、そのような「習慣」を身につけることにより充実した“花”を咲かせることができるのではないのでしょうか。1月から3月までのこの期間は本当にあつという間に過ぎ去っていきます。私たちの学校下京中学校の校是「志きらめく 一志は高く、学びは深く、出会いは広く一」を噛みしめながら、皆さんと共に、大きな花を咲かせるべく、じっくりと考える時間を創りながら、日々を大切に送っていきたくと思います。元旦に訪れた平等院の夕日を見ながら、“考える”ということを改めて思いました。

一年の計は元旦にあり



〈元旦 夕日に輝く平等院の“鳳凰”〉